

# 安全性評価・劣化試験

## ■リチウムイオン電池の劣化試験 充放電サイクル試験

リチウムイオン電池の寿命試験の一つとして、充放電サイクル試験があります。充放電のくりかえしによる電池の劣化を加速評価する試験です。  
IEC62660-1 7.7やQC/T743-2006 6.2.11等では充放電試験条件が規定されていますが、他の規格では試験条件まで記載されている例は、多くはありません。

用途により、実際の電池使用環境を模擬したり、輸送機の場合は走行パターンを再現する条件で、温度、充放電条件やサイクル数などを設定しての試験が多いようです。

### 当社所有の充放電試験設備仕様

試験電圧：最大20V/ch

試験電流：最大300A(360A)/ch

制御周期/データサンプリング周期：100msec

: 100  $\mu$  sec(一部設備で対応可)

試験温度：-30°C~60°C



上記範囲外の試験についても、ご相談下さい。  
試験実施にあたって、条件詳細については、お打ち合わせの上、決定いたします。

お問い合わせは、  
株式会社コベルコ科研 まで  
eigyo@kki.kobelco.com